

すぐわかる! ロッテのサステナビリティ

ロッテは、サステナビリティ活動で今後取り組むべき課題を明確にするため、自社の重要課題（マテリアリティ）の抽出・整理を2018年3月までに行い、事業活動を通じて取り組むべきテーマを「食の安全・安心」「食と健康」「環境」「持続可能な調達」「従業員の能力発揮」の5つに整理しました。この5つのテーマについて皆様からの質問にお答えします。



1 たとえば品質で — 安全・安心でおいしいお菓子・アイスをお届けたい



安全や安心についての考え方を教えて？

製品づくりにあたっては、安全・安心で高品質であることはもちろん、「楽しさ」「おいしさ」「やすらぎ」の付加価値が感じられることも不可欠であると考えています。それらすべてをロッテの実現すべき"品質"であるとみなし、全従業員で品質の向上に取り組んでいます。



安全・安心のためにどんな取り組みをしているの？

国際基準などに則り、原材料の調達から生産、出荷に至るまでの各工程で、品質管理を徹底しています。さらに、すべての方々にとって使いやすく、わかりやすい容器包装・表示をめざし、ユニバーサルデザインの観点から開発に取り組んでいます。





アレルギーが心配なんですけど…



食品表示法で表示が義務づけられている情報はもちろんのこと、お客様の関心が高い食品安全に関する情報や安心してお召し上がりいただくための注意事項を商品に記載するよう努めています。

アレルギー物質については、表示が義務づけられている7品目と表示が推奨されている20品目を記載し、安心してお召し上がりいただけるよう配慮しています。



2 たとえば健康で —「食と健康」の大切さを伝えたい



「食と健康」の分野での取り組みは？



「おいしい」だけでなく「体にいい」ものを「手軽に」摂りたいというお客様のニーズが高まっています。ロッテは、創業以来培ってきた知見や技術を活かし、食における新しい価値で社会課題の解決に貢献するイノベーション——「ロッテノベーション」を積極的に推進しています。



3 たとえば環境で——地球の豊かな自然を守りたい



環境への取り組みについて教えて



ロッテでは、低炭素社会の実現に向けた取り組みのひとつとして、物流に伴う環境負荷の低減に取り組んでいます。効率的な商品の積載に努めるとともに、同業他社との共同配送やモーダルシフトを推進しています。





ごみを減らすための工夫は？



循環型社会の実現に向けた取り組みとして、限られた資源の有効活用に努めるとともに、リデュース（Reduce）、リユース（Reuse）、リサイクル（Recycle）の3Rを実践し、廃棄物の低減に取り組んでいます。



4 たとえば調達活動で——カカオ原産国の人たちに笑顔をもたらしたい



カカオの産地にはどんな支援をしているのですか？



ロッテ「ガーナチョコレート」の名前に縁の深い西アフリカのガーナ共和国。同国の農村地域では、病院が少なく薬や設備も不足しているため十分な治療が受けられないという問題を抱えています。ロッテは、保健施設の建設支援や保健推進員や助産婦が利用する自転車寄贈などに貢献しています。



5 たとえば従業員のために——さまざまな人材が能力を発揮できる環境をつくりたい



働く人たちへはどんな取り組みをしているの？



ロッテは、人材こそが事業を支えるもっとも重要な基盤であると考えて、従業員一人ひとりの能力を伸ばすための取り組みや、多様な働き方ができる職場づくりに取り組んでいます。

2018年2月には、日頃の健康維持・増進への取り組みが評価され「健康経営優良法人2018～ホワイト500～」の1社として認定されました。（認定期間～2019年3月31日）さらに、2018年4月には、従業員の家庭と仕事の両立支援を目的として、浦和工場と狭山工場の近隣に、従業員が利用できる事業所内保育所「ハッピーマーチ保育園」を開設しました。

